

2026 年度  
北海道看護研究学会実施要綱

公益社団法人 北海道看護協会

# 目次

I	開催概要	1
II	参加申込について	2
	1 参加資格	2
	2 参加費	2
	3 参加申込	2
	4 参加証	2
	5 オンデマンド視聴情報	2
	6 北海道看護研究学会抄録集について	2
	7 参加にあたっての注意	2
III	演題申込について	3
	<b>一般演題申込</b>	
	1 演題申込期間	3
	2 応募資格	3
	3 種別	3
	4 発表形式	3
	5 提出書類	5
	6 演題申込方法	5
	7 抄録選考について	5
	<b>交流セッション企画申込</b>	
	1 企画申込期間	6
	2 募集企画数	6
	3 応募資格	6
	4 運営方法	6
	5 提出書類	6
	6 申込方法	6
	7 企画選考について	6
IV	個人情報の取扱いについて	7
V	お問い合わせ先	7
	(資料1) 演題登録区分	8
	(資料2) 抄録原稿の作成方法	9
	(資料3) 研究における倫理的配慮とその記述方法	17
	(資料4) 演題応募から抄録選考、採択までの流れ	19
	(資料5) 抄録選考基準	20
	(様式1) 2026年度北海道看護研究学会 演題応募チェックリスト	22

## I 開催概要

- 1 学会テーマ 「人と地域が「いきる」未来をつなぐ看護に挑むー医療DXと看護の力の融合ー」
- 2 開催方法 会場開催  
※一部プログラム（基調講演、シンポジウム）をオンデマンド配信  
オンデマンド配信とは：上記配信期間内でご自分のパソコン等で、視聴したいときに視聴したい動画を選択して観ることができます。
- 3 開催日 会場参加日：2026年10月31日（土）  
オンデマンド配信期間：会場開催後約1ヶ月（予定）
- 4 内容 基調講演、シンポジウム、一般演題「研究報告」「実践報告」（口演、示説）、交流セッション、  
起業ナース（全看護職）・地域活動に取り組む看護職の活動紹介ブース、  
企業展示（展示のみ/説明会場）、書籍展示・販売  
※基調講演、シンポジウムのオンデマンド配信あり
- 5 会場 北海道看護協会（札幌市白石区本通17丁目北3番24号）

### ○起業ナース(全看護職)・地域活動に取り組む看護職の活動紹介ブースについて

地域で主体的に活動する看護職を紹介・応援する場として設置します。また、学会参加者に新たな視点と連携の可能性を提供します。

NPO 法人の設立に限らず、地域福祉、健康づくり、教育支援など多様な分野で活躍する看護職が、自らの活動を発表し、学会参加者と交流する場とします。

## II 参加申込について

### 1 参加資格

北海道看護研究学会は、北海道看護協会会員の他、非会員、学生（看護の免許を未取得の看護学生）も参加できます。※会員とは「学会開催年度の北海道看護協会会員」を指します。

### 2 参加費

	事前参加費	当日参加費
会員	3,000 円	4,000 円
非会員	4,500 円	6,000 円
学生	1,500 円	1,500 円

⑧

- ・学会参加申込時点の入会の有無によって、参加費の区分(会員・非会員)が決まります。
- ・オンデマンドのみの視聴の場合も参加費は同額です。

### 3 参加申込

- ・学会の開催案内を、ホームページや協会ニュース、LINE、ポスター・チラシでご案内しています。また、2026年4月末に各施設看護管理者宛に開催案内を送付予定です。上記案内の参加申込方法にそって申込をしてください。申込期日、入金方法・期日は厳守願います。
- ・事前に「デジタル抄録集（PDF形式）」を閲覧できる「事前参加申込」をおすすめいたします。
- ・参加費には、現地開催の参加とオンデマンド配信の視聴を含みます。

#### 1) 事前参加申込（推奨）

- ・一般演題「研究報告」「実践報告」（口演、示説）発表、交流セッションを行う方は、必ず事前参加申込をしてください。参加登録を行わない場合、演題・企画取り下げとなりますのでご注意ください。

#### 2) 当日参加申込

- ・学会当日受付にお越しください。
- ※北海道看護協会会員証（電子会員証を含む）は、当日受付時にご提示ください。
- ※学会当日の時点で、2026年度の入会手続きが完了していない場合は、非会員料金となることをご了承ください。

### 4 参加証

- ・参加費を入金しだい、参加証はマナブルからダウンロードできるようになります。会場参加をする場合は各自ダウンロード、プリントアウトし、ご持参ください。
- ・会場で参加証を入れるネームホルダーをお渡しします。会場では、持参した参加証をネームホルダーに入れて、常に首からお下げください。

### 5 オンデマンド視聴情報（視聴用 ID、およびパスワード）

- ・オンデマンド配信開始 5 日前までに、申込サイトマナブルに掲載いたします。

### 6 北海道看護研究学会抄録集について

- ・公開予定日：学会開催 1 週間前
- ・研修申込サイトマナブル上に抄録集を「デジタル抄録集（PDF形式）」として公開いたします。参加費入金済の参加者は事前に閲覧・ダウンロードが可能です。
- ※2026年度から、抄録集は紙媒体ではなく、デジタル形式での提供となります。

### 7 参加にあたっての注意

- ・発表会場内での写真撮影・ビデオ撮影・録音・録画はご遠慮ください（取材のため予め許可を受けたものは除く）。
- ・会場内では、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定のうえ通話をご遠慮ください。
- ・資料（パンフレット、用具等）を会場内で配付することはできません。
- ・児童、幼児の学会会場への入場はご遠慮ください。

### Ⅲ 演題申込について

2026年度北海道看護研究学会では、以下の募集を行います。

・一般演題

種別：研究報告、実践報告

発表形式：口演、示説(ポスターセッション)

・交流セッション

#### 一般演題申込

1 演題申込期間：2026年2月2日（月）～2026年3月23日（月）17:00 必着

2 応募資格

(1) 発表者および共同研究者は、2025年度北海道看護協会会員かつ2026年度北海道看護協会会員であること  
(ただし、看護職以外の共同研究者はこの限りではありません)。

(2) 研究内容は、未発表のものに限ります（自施設内職員間の発表にとどめ、二重投稿を禁止します）。

3 種別

「研究報告」と「実践報告」の種別があります。以下の説明に従い、「研究報告」か「実践報告」の種別を選び登録してください。なお、「研究報告」と「実践報告」では項立てやそれぞれの項に記載する内容が異なるため、抄録作成の際は pp. 9-16「抄録原稿の作成方法」（資料2）をよく確認してください。

「研究報告」：調査等に基づく研究の成果についてまとめられた、看護学の発展につながる報告

「実践報告」：臨床等の実践内容から得られた成果についてまとめられた、より質の高い看護実践につながる報告

4 発表形式

口演または示説（ポスターセッション）のいずれかを希望することができます。ただし、ご希望に添えないことがありますので、ご了承ください。以下の発表形式を参照の上、北海道看護協会研修申込みサイトマナブルの申込みフォームに希望を記載してください。

1) 口演

口演発表は、パワーポイントを使用して研究成果を直接説明していく発表形式です。

(1) 発表時間は1演題8分、質疑応答は1演題ごとに行います。

(2) 利益相反 (COI)：データの作成に際し、発表者及び共同研究者の全員について研究に関する企業、団体等との学会開催時から遡って3年以内の利益相反状況の申告が必要。下記スライド例のようにタイトルスライドに続いて、2枚目にCOI開示スライドを必ず挿入する。※利益相反の有無にかかわらず、全発表者が開示する。

(3) スライド枚数は11枚（COI開示スライドを含む）以内です。アニメーション効果および動画は使用禁止とします。

(4) パソコンは協会で準備いたします。

パソコンのOSはWindows11、使用アプリケーションはMicrosoft365(PowerPoint)です。

(5) 発表時のスライド操作は、演台にて発表者ご自身でお願いします。

<利益相反がない場合>

## 北海道看護研究学会 COI開示

○北海 花子、□□太郎（○発表者）

本演題発表に関連して、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

利益相反がない場合、左図のようなスライドを作成して、発表スライドの2枚目に挿入してください。

<利益相反がある場合>

## 北海道看護研究学会 COI 開示

○北海 花子、□□太郎 (○発表者)

演題発表内容に関連し、筆頭および共同発表者が開示すべき COI 関係にある企業などとして

<ul style="list-style-type: none"><li>①顧問：</li><li>②株保有・利益：</li><li>③特許使用料：</li><li>④講演料：</li><li>⑤原稿料：</li><li>⑥受託研究・共同研究費：</li><li>⑦奨学寄付金：</li><li>⑧寄付講座所属：</li><li>⑨贈答品などの報酬：</li></ul>	<p style="text-align: center;">(記載例)</p> <p>発表者全員、過去3年間を一括して</p> <p>講演料：○○製薬会社</p> <p>原稿料：××薬品株式会社</p> <p>贈答品などの報酬：株式会社△△</p>
--	---

申告すべき利益相反(過去3年間)がある場合、左図のようなスライドを作成して、発表スライドの2枚目に挿入してください。

①～⑨は、開示すべき内容が過去3年間ある項目のみ記載。

2) 示説(ポスターセッション)

示説(ポスターセッション)は、パネル掲示という方法で伝達する形式です。

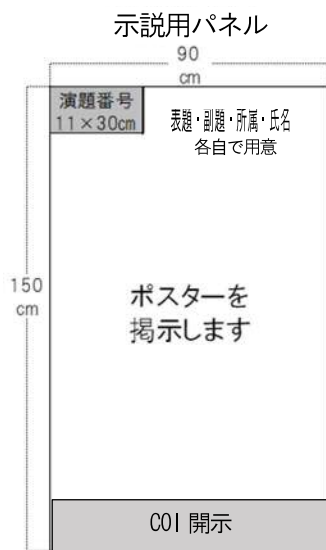
- (1) 発表時間は1演題5分、質疑応答は発表終了後に行います。
- (2) 利益相反(COI)：データの作成に際し、発表者及び共同研究者の全員について研究に関する企業、団体等との学会開催時から遡って3年以内の利益相反状況の申告が必要。ポスター下部に四角囲みで記載する。※利益相反の有無にかかわらず、全発表者が開示する。
- (3) 担当群の時間内は、パネルの前で待機し、参加者からの質問への対応をお願いします。
- (4) 掲示は、縦150cm×横90cmの範囲内で行います。※演題番号(11×30cm)は学会事務局で準備。

<利益相反がない場合>

本演題発表に関連して、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

<利益相反がある場合>

本演題発表に関連し、筆頭および共同発表者が開示すべき COI 関係にある企業などとして、発表者全員、過去3年間を一括して○○株式会社から講演料、株式会社△△から原稿料を受けている。



**【COI 開示】**

- ①顧問：
- ②株保有・利益：
- ③特許使用料：
- ④講演料：
- ⑤原稿料：
- ⑥受託研究・共同研究費：
- ⑦奨学寄付金：
- ⑧寄付講座所属：
- ⑨贈答品などの報酬：

※パワーポイントやポスター作成方法についての指導は行っておりません。

※パワーポイントの提出等に関わる事項やポスター掲示に関する詳細は、後日採択決定者に通知いたします。

## 5 提出書類

- (1) 2026 年度北海道看護研究学会 演題応募チェックリスト (様式 1) (p. 22) . . . . . 1 部
- (2) 演題応募原稿 : ①抄録原稿 . . . . . 1 部 p. 11, 12, 14 参照  
②選考用抄録原稿 . . . . . 1 部 p. 11, 13, 15 参照

※「2026 年度北海道看護研究学会実施要綱」「演題応募チェックリスト (様式 1:Excel 形式)」「演題応募原稿①抄録原稿、②選考用抄録原稿様式」は、看護協会ホームページからダウンロードできます。

※抄録原稿作成について、pp. 9-16「抄録原稿の作成方法」(資料 2)、pp. 17-18「研究における倫理的配慮とその記述方法」(資料 3) を必ず事前にお読みください。原稿枚数、文字数は必ず厳守してください。

## 6 演題申込方法

※北海道看護協会研修申込サイトマナブルに登録されていない方は、最初にマナブル登録をお願いします。

※演題応募チェックリスト (様式 1)、①抄録原稿、②選考用抄録原稿はすべて PDF ファイルに変換し、研修申込サイトマナブルに提出 (アップロード) してください。

- (1) 申込受付期間内(2/2~3/23)にマナブルにログインし、左サイドメニュー “イベントを探す” に【一般演題申込み】2026 年度北海道看護研究学会を入力し検索する。
- (2) 右側に表示されている “イベントを申し込む” をクリックし、申込みフォームに必須事項を入力および演題応募チェックリスト (様式 1)、①抄録原稿、②選考用抄録原稿をアップロードしてください。  
※演題登録区分は p. 8「演題登録区分」から、抄録の内容に沿った区分をシステム上で選択する。
- (3) マナブルから “申込み完了” の自動返信メールがマナブル登録メールアドレスに届きます。自動返信メールが届かない場合は必ず教育課 (TEL : 011-861-3273) 学会担当までご連絡ください。
- (4) 提出書類を学会事務局で確認し、不備がない場合は “承認 (演題登録完了)” の通知がマナブル登録メールアドレスに届きます。※不備があった場合は、学会メールアドレス gakkai@hkna.or.jp より、発表者に個別にメールで通知いたします。

## 7 抄録選考について

### (1) 演題の採択

- ①採択は北海道看護協会学会委員会が行います。
- ②初回選考の結果は、2026 年 5 月上旬、発表者に学会メールアドレス gakkai@hkna.or.jp より、個別にメールで通知いたします。提出された書類・記憶媒体は採否にかかわらずお返しいたしません。
- ③初回選考の結果、保留の方のみ再選考します。再提出期限については、該当者へ通知しますので修正した抄録を期限内に提出してください。提出がない場合は辞退とみなします。
- ④提出後の抄録の修正はできませんので、提出される前に必ず確認してください。  
p. 19 「演題応募から抄録選考、採択までの流れ」(資料 4) を参考にしてください。

### (2) 抄録選考基準

pp. 20-21 「抄録選考基準」(資料 5) に沿って選考します。

## 交流セッション企画申込

- 1 企画申込期間：2026年2月2日（月）～2026年3月23日（月）17:00 必着
- 2 募集企画数：2
- 3 応募資格  
申込代表者および共同発表者は、2025年度北海道看護協会会員かつ2026年度北海道看護協会会員であること（ただし、看護職以外の共同研究者はこの限りではありません）。
- 4 運営方法：交流セッションは申込者による運営となります。
  - (1) 持ち時間は90分です。その前後に準備15分程度、片付け15分程度あります。時間厳守へのご協力をお願いいたします。
  - (2) 会場定員未定
  - (3) 発表形式：申込者が設定した看護のテーマについて、参加者との自由な意見交換を通して、理解を深め学び合う双方向的な発表形式としてください。
  - (4) 会場には、プロジェクター、映写用パソコン、スクリーン、ホワイトボード、マイク3本を準備しますが、その他の物品レンタル等については、開催前にご相談ください。
  - (5) 会場の準備、後片付け等は、申込代表者が責任を持って時間内に行ってください。
- 5 提出書類
  - (1) 企画抄録原稿：抄録原稿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部 p.16参照  
※「2026年度北海道看護研究学会実施要綱」、「交流セッション企画抄録原稿様式」は、看護協会ホームページからダウンロードできます。  
※抄録原稿作成について、p.16「交流セッション抄録原稿」、pp.17-18「研究における倫理的配慮とその記述方法」（資料3）を必ず事前にお読みください。原稿枚数、文字数は必ず厳守してください。
- 6 申込方法  
※北海道看護協会研修申込サイトマナブルに登録されていない方は、最初にマナブル登録をお願いします。  
※交流セッション企画抄録原稿は、PDF ファイルに変換し、研修申込サイトマナブルに提出（アップロード）してください。
  - (1) 申込受付期間内(2/2～3/23)にマナブルにログインし、左サイドメニュー“イベントを探す”に【交流セッション申込み】2026年度北海道看護研究学会を入力し検索する。
  - (2) 右側に表示されている“イベントを申し込む”をクリックし、申込みフォームに必須事項を入力および抄録原稿をアップロードしてください。
  - (3) マナブルから“申込み完了”の自動返信メールがマナブル登録メールアドレスに届きます。自動返信メールが届かない場合は必ず教育課（TEL：011-861-3273）学会担当までご連絡ください。
  - (4) 提出書類を学会事務局で確認し、不備がない場合は“承認（演題登録完了）”の通知がマナブル登録メールアドレスに届きます。※不備があった場合は、学会メールアドレス gakkai@hkna.or.jp より、代表者に個別にメールで通知いたします。
- 7 企画選考について
  - (1) 北海道看護協会学会委員会が決定します。
  - (2) 選考の結果は、2026年5月上旬、学会メールアドレス gakkai@hkna.or.jp より、申込代表者にメールで通知いたします。提出された書類・記憶媒体は採否にかかわらずお返しいたしません。
  - (3) 応募多数の場合は不採択の場合もありますのでご了承ください。

#### IV 個人情報の取扱いについて

参加登録、演題登録により、当協会へ提出いただいた個人情報は、受付、各種通知、抄録および発送、問い合わせのみに利用し、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはありません。

#### V お問い合わせ先

公益社団法人北海道看護協会 事業部教育課 学会担当 電話 011-861-3273 (教育課 直通)

※学会については、随時、北海道看護協会ホームページで更新するほかに、北海道看護協会ニュースにも学会情報を掲載していきます。

演題登録区分
--------

大項目		小項目	
I	健やかに生まれ育つことへの支援	1	安全で安心な妊娠・出産
		2	院内助産・助産師外来の開設推進と評価
		3	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
		4	子育て包括支援
		5	障がいを抱える母子への支援
		6	その他
II	健康に暮らすことへの支援	7	セルフケア能力の向上
		8	健康維持・増進
		9	地域における保健医療福祉に係る計画策定等
		10	健康危機管理
		11	その他
III	緊急・重症な状態から回復することへの支援	12	緊急・重篤な状態の患者の臨床推論と実践
		13	患者の回復と生活の質の改善
		14	治療提供や新たな医療技術における倫理判断と意思決定
		15	その他
IV	住み慣れた地域に戻ることへの支援	16	円滑な在宅移行支援
		17	退院後の生活の調整
		18	訪問看護
		19	その他
V	疾病・障がいとともに暮らすことへの支援	20	疾病および障がいの重症化予防
		21	ケースのマネジメント
		22	療養と就業の両立
		23	本人と家族の意思尊重、意思決定支援
		24	その他
VI	穏やかに死を迎えることへの支援	25	苦痛と不安の緩和
		26	死に関する予測の告知と意思決定支援
		27	看取りケア
		28	その他
VII	看護制度・政策	29	看護制度
		30	看護政策
		31	その他
VIII	看護管理	32	看護の質管理
		33	医療安全・感染管理
		34	労務管理
		35	看護職の確保・定着
		36	看護業務
		37	チーム医療・チームケア
		38	その他
IX	看護教育	39	基礎教育
		40	新人教育
		41	継続教育
		42	その他
X	国際看護	43	国際看護
XI	災害看護	44	災害看護

※2025年度日本看護学会学術集会 演題登録区分使用

## 抄録原稿の作成方法

### 一般演題抄録原稿

#### 1 言語

記述の言語は、日本語とする。

#### 2 抄録原稿

原稿はパソコンで作成する。北海道看護協会ホームページより所定の様式をダウンロードし、2種類(抄録原稿、選考用抄録原稿)作成する。原則として、抄録原稿は文章のみとする。ただし、特別な理由がある場合、図表は1点のみ可とする。

##### (1) 抄録原稿

表題・キーワード・発表者名・共同研究者名・所属施設名を記載する。

そのまま抄録とするため、完全な原稿として提出する。

##### (2) 選考用抄録集原稿

抄録を選考する委員に提出するため、投稿者を特定できないよう発表者名・共同研究者名・所属施設名を記載しない。

表題・キーワード・本文は「抄録原稿」と同一のものであること。

#### 3 原稿枚数・文字数

(1) A4 横書き 2 段組み(様式ダウンロード)1 枚以内(両面不可)

(2) 2,000 字以内(引用文献、図表、スペースなどを含む)

(3) 表題、副題はそれぞれ 30 字以内

#### 4 様式 (北海道看護協会ホームページより、所定の様式をダウンロードする)

##### (1) 様式使用の注意事項(抄録原稿、選考用抄録原稿共通)

①本文は2段組みとし、スペースを含めて2,000字(全角25字×40行×2段)以内の抄録になるように設定されている。ページ設定、文字サイズ、書体、本文より上部の行数の変更は不可。

②本文の文字サイズは、10.5ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。

③図・表を挿入する場合、レイアウトは自由だが、論述の根拠となるデータを厳選し、図・表の文字、数字は判別可能なものを挿入すること。

④写真・図・表は白黒で判別できる明瞭なものであるか確認すること。

#### 5 構成

表題・副題および本文の構成・項目立ては、原則として次の通りとする。

項目立ては下記の【 】の項目を全て使用し、各項目には以下を含む必要な内容を記載する。

<「研究報告」の項目立てと必要な記載内容>

・表題・副題は、簡潔で研究内容がわかるように表現する。

【緒言】 先行研究で明らかになっている内容をもとに本研究の新規性および意義を明確に記載する。

【目的】 本研究の目的を明確に記載する。

【方法】 研究方法と分析方法の両方を記載する。

【倫理的配慮】 研究の過程で行った倫理的配慮を記載する。倫理的配慮については pp. 17-18 の「研究における倫理的配慮とその記述方法」(資料3)を網羅すること。

【結果】 事実を客観的に記載する。

【考察】 結果の解釈、先行研究との関連を記載する。

【結論】 考察から導き出された結論と本研究の限界、今後の看護実践や研究への示唆を記載する。

引用文献 記載にあたっては下記※参照

<「実践報告」の項目立てと必要な記載内容>

・表題・副題は、簡潔で実践内容がわかるように表現する。

【背景】 実践に取り組んだ背景などを記載する。

【目的】 実践のねらい(実践の目的)を明確に記載する。

【実践内容・方法】 事例の概要や取組みの方法を記載する。

【倫理的配慮】 倫理的配慮を記載する。倫理的配慮については pp. 17-18 の「研究における倫理的配慮とその記述方法」(資料3)を網羅すること。

【結果】 実践の結果を記載する。

【考察】 結果の解釈、先行研究がある場合にはそれとの関連などを記載する。

【実践への示唆】 課題や展望など、今後の看護実践への示唆を記載する。

引用文献 記載にあたっては下記※参照

※引用文献の記載

(1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に<sup>1)</sup><sup>2)</sup>と番号をつけ、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。

(2) 引用文献の記載方法は次のようにする。共著者は3名まで標記し、それ以外はその他とする。

【雑誌掲載論文】

著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：看護研究の〇〇〇について，▲▲看護，25(11)，p. 35-38, 2008.

例) 学会花子，日本協子，清瀬看子，他：看護の〇〇〇研究 第〇回日本看護学会論文集(看護管理)，p. 5-8, 20〇〇.

【単行本】

著者名：書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：看護実践研究の手引き(3)，〇〇看護出版 p. 145, 2006.

著者名：表題名，編者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：研究における〇〇，日本協子編 看護実践研究(2)，▲▲出版 p. 76-88, 2007

【翻訳書】

原著者名：書名(版)，発行年，訳者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

例) Alice Williams：Nursing Research(4)，2001，学会花子訳 看護研究(4)，〇〇看護出版 p. 298. 2003.

【電子文献】

著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)，アクセス年月日，URL。

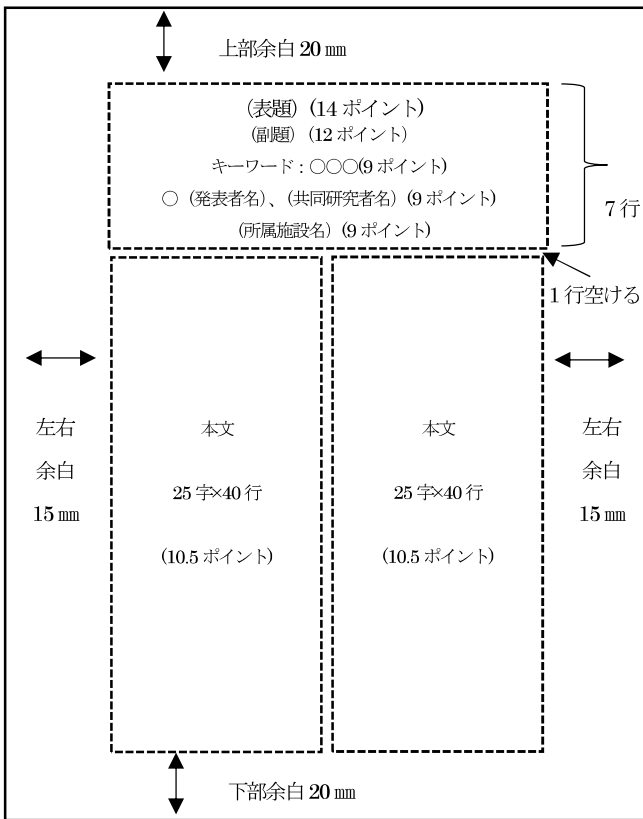
発行機関名(調査/発行年次)，表題，アクセス年月日，URL。

例) 文部科学省，厚生労働省(2021)，人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針，2021年12月6日閲覧 <https://www.mhlw.go.jp/content/001077424.pdf>.

※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする。

6 抄録原稿見本（研究報告、実践報告共通）

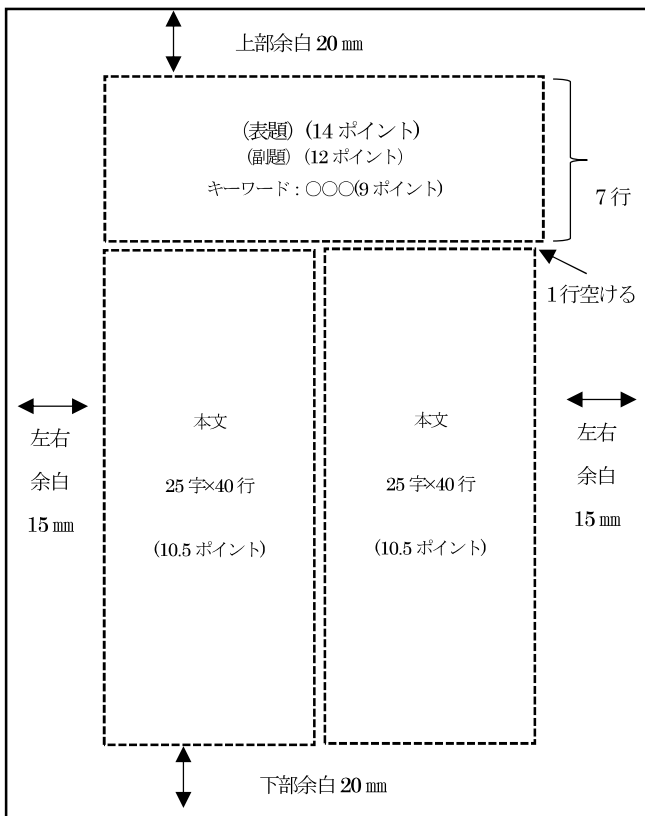
①抄録原稿



①抄録原稿

- 上段に 1 段組で、  
7 行分のスペースを使い下記①～④記載
  - ①表題 ※副題は必要時
  - ②キーワード(「キーワード:」の後に、  
抄録内容を表す重要な語句を 3～5 個)を記載する
  - ③発表者名(最初に記載し、氏名の頭に○印を入れる)
  - ④共同研究者名
  - ⑤所属施設名
- 上段から 1 行空け、本文は 2 段組みとする。

②選考用抄録原稿



②選考用抄録原稿

- 上段に 1 段組で表題、キーワード
  - ※表題・キーワード・本文は①抄録原稿と同一であること
  - ※発表者名、共同研究者名、所属施設名は記載しない
- 上段から 1 行空け、本文は 2 段組みとする。

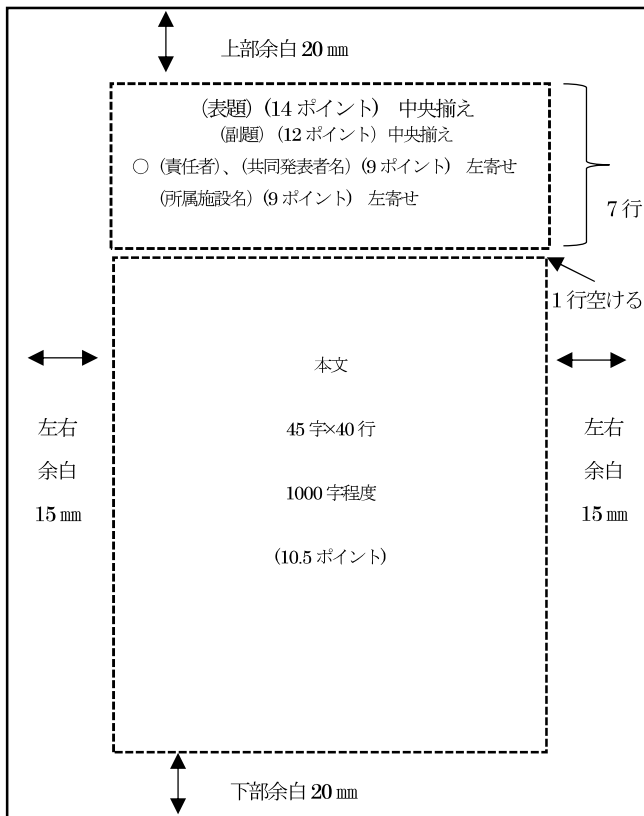








抄録原稿



■上段に1段組で、

7行分のスペースを使い下記①～④記載

- ①表題 ※副題は必要時。
- ②責任者(氏名の頭に○印を入れる)
- ③共同発表者名
- ④施設名

※複数施設の場合は名前右肩に数字をふり  
下に施設名はまとめて記載する。

■上段から1行空け、本文を1000字程度でまとめる。

開催の趣旨(目的や意図等)、実施方法(おおよその時間配分を含む)、内容(実践や取組内容・成果や課題・検討したい今後の課題等)を記載する。  
企画内容に応じて、倫理的配慮に関する記載する。

## 研究における倫理的配慮とその記述方法

日本看護協会2020年度実施要綱から改変

### 1. 先行文献を調べて活用していますか？

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返して研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」、「考察」で適切に引用しましょう。「日本看護協会ホームページ>キャリアナース」には文献データベース「最新看護索引 Web」があり、『日本看護学会論文集』（第42回より）の全文PDFも公開されています。ぜひ活用してください。

### 2. 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか？

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞(当院・当病棟、市町村名も含む)・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。

### 3. 研究対象者の個人情報を保護していますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護研究における倫理指針」(日本看護協会、2004年)、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(個人情報保護委員会・厚生労働省、2017年)、「看護職の倫理綱領」(日本看護協会、2021年)、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省、2023年一部改正)および所属施設の規定に従ってください。

### 4. 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院患者に対し無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても、自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合は、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理審査委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行う研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得る必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理審査委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能なかぎり研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理審査委員会等での同意が必要となります。

## 5. 倫理審査委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理審査委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究対象施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理審査委員会等で承認を受けていることを明記してください。

倫理審査委員会の表記については、研究対象者の特定を避けるため、名称などの表記に注意すること。

例)「当院」「当病院」等の記載はせず「A病院」「A病棟」とする。倫理審査委員会も正式名称は記載せず、「A大学(病院)倫理審査委員会」などとする。

また、所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、「倫理委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載のうえ、「対象者から自由意思による承諾を得た」こと、「不利益を回避するための配慮を実施した」ことを明記して下さい。研究の実施だけではなく、研究結果の公表(発表)に関しても、研究対象者および研究対象施設の承諾が必要です。

※所属施設で倫理審査委員会に類似する委員会等がない場合は、当協会研究倫理審査会をご活用ください(詳細は当協会ホームページをご覧ください)。

## 6. 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理審査委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策(中止基準の設定等)、研究データの取扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

## 7. 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から本文を引用する場合は、出典(文献)を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典(文献)を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典(文献)を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、( )内に商品名と登録商標の場合は®を記載してください。

## 8. 利益相反の有無を明記していますか？

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益(得られる成果を社会へ還元する)と私的利益(個人が取得する金銭、地位、利権など)が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料(発表資料、論文等)に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

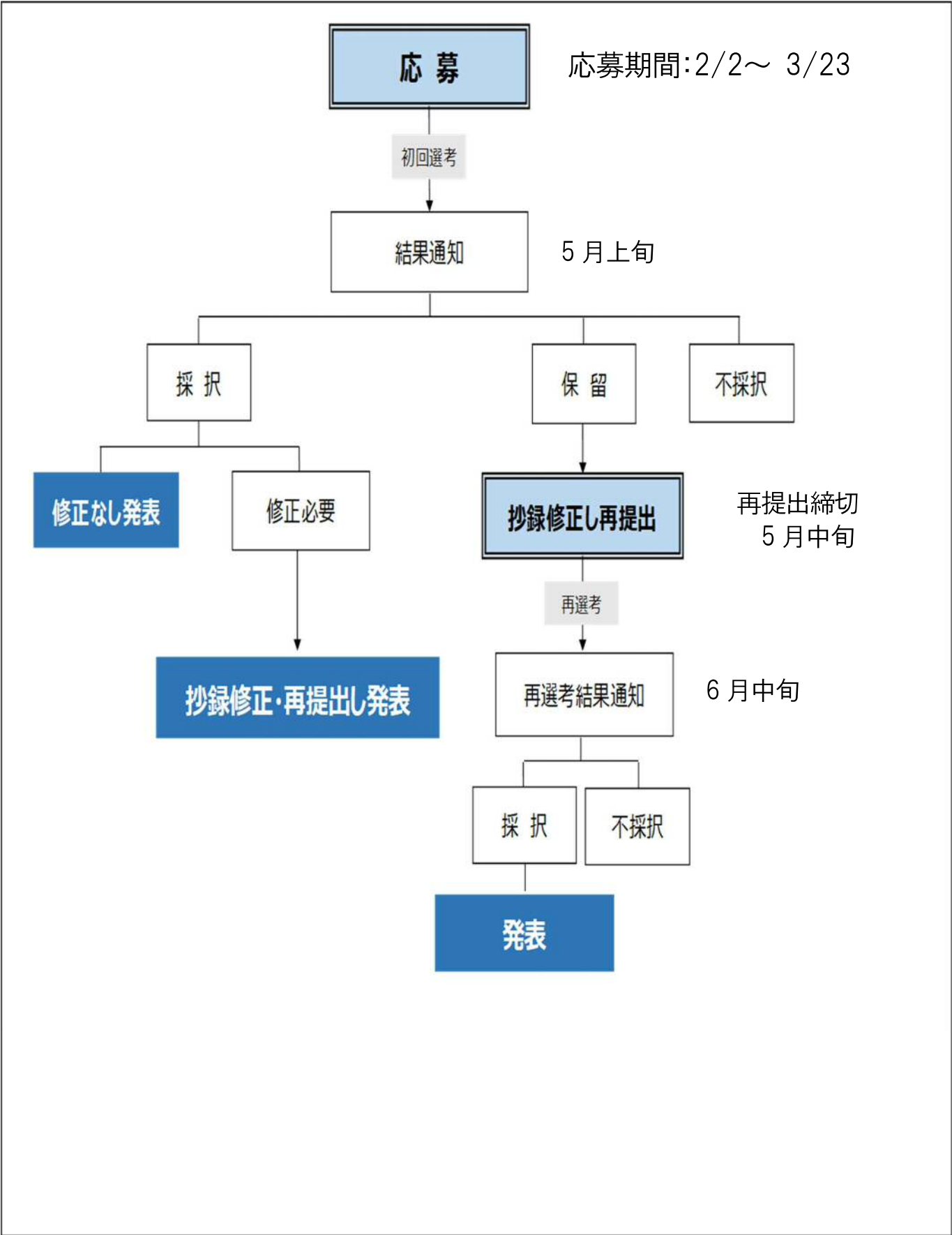
### 【利益相反の記載方法】

抄録原稿	抄録原稿への記載は不要とする。
学術集会での発表媒体	発表媒体(スライド・ポスター)内に利益相反状態を開示する。
論文原稿	論文の本文中に利益相反状態を記載する。
※記載例	
利益相反がある場合	本演題発表に関連して、△△社から研究者所属の看護部への委託研究費・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。
利益相反がない場合	本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。
過去3年間の利益相反の有無について申告の上、発表媒体に開示することが必要です。	

## 9. 抄録原稿の著作権・個人情報の取り扱いについて

抄録原稿の著作権について	北海道看護協会の研究学会抄録集に記載された著作物(Web公開の発表データ等含む)の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権などは当看護協会に帰属いたします。
個人情報取り扱いについて	参加登録、演題登録により、当協会へ提出いただいた個人情報は、受付、各種通知、抄録および発送、問い合わせのみに利用し、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはありません。

演題応募から抄録選考、採択までの流れ



<b>研究報告 抄録選考基準</b>
--------------------

項目	NO	内容	要修正
表題・副題	1	内容を適切に表現している。	
緒言・目的	2	この研究により何を明らかにしようとしているかが明確である。	
	3	研究の意義が明確である。	
	4	文献検討が適切である。	
方法	5	研究方法は、研究目的・目標達成のために妥当である。	
	6	対象は適切である。	
	7	データ収集方法および手順を示している。	
	8	分析方法は妥当である。	
結果	9	研究目的にそった結果を示している。	
	10	事実を客観的に示している。	
	11	図表の表現・体裁は適切である。	
考察	12	得られた結果に基づいた解釈をしている。	
	13	研究目的にそった考察で一貫性がある。	
倫理的配慮	14	個人が特定されないように配慮している。	
	15	固有名詞（当院・当病院・市町村名を含む）を使っていない。	
	16	倫理審査委員会において研究に関する倫理審査を受け、承認を得ていることを示している。	
	17	倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、「倫理委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載のうえ、「対象者から自由意思による承諾を得た」こと、「研究ならびに発表の承諾が得られている」こと、「対等者の不利益が生じないように配慮した」ことを明記している。	
	18	既存の尺度を使用する場合、著作者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記している。 尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを明記している。	
	19	薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載している。	
	20	文献を引用する場合、著作権に配慮し文献を明記している。	
発表価値	21	看護実践に意味ある事実や知見がある。	

## 実践報告 抄録選考基準

項目	NO	内容	要修正
表題・副題	1	内容を適切に表現している。	
背景・目的	2	実践の背景が具体的かつ論理的に記述されている。	
	3	背景から導かれる必要性・意義が明確であり、実践のねらいが一貫している。	
実践内容・方法	4	実践の内容（手順・過程や成果）を明確に示している。	
	5	実践の目的に対して、取り組み方法が合理的かつ妥当である。	
結果	6	目的にそった結果を示している。	
	7	事実を客観的に示している。	
	8	図表の表現・体裁は適切である。	
考察	9	得られた結果に基づいた解釈をしている。	
	10	目的にそった考察で一貫性がある。	
実践への示唆	11	看護実践に意味ある事実や知見が明確に示されている。	
倫理的配慮	12	個人が特定されないように配慮している。	
	13	固有名詞（当院・当病院・市町村名を含む）を使っていない。	
	14	倫理審査委員会において実践報告に関する倫理審査を受け、承認を得ていることを示している。	
	15	倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、「倫理委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載のうえ、「対象者から自由意思による承諾を得た」こと、「実践ならびに発表の承諾が得られている」こと、「対等者の不利益が生じないように配慮した」ことを明記している。	
	16	既存の尺度を使用する場合、著作者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記している。 尺度を改変して使用場合は、作成者から許諾を得たことを明記している。	
	17	薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載している。	
	18	文献を引用する場合、著作権に配慮し文献を明記している。	
発表価値	19	看護実践に意味ある事実や知見がある。	

## 2026年度北海道看護研究学会 演題応募チェックリスト

※ 応募する前に、下記の各項目について遵守しているかを確認してください。

右のチェック欄に確認の✓を記入し、下段に発表者氏名を記載してください。

◎ 本演題応募チェックリストは、①抄録原稿・②選考用抄録原稿と一緒に提出(アップロード)してください。

【演題応募資格について】	チェック欄
・ 演題応募者(発表者)は、2025年度北海道看護協会会員かつ2026年度北海道看護協会会員であること。	
・ 看護職の共同研究者は、2025年度北海道看護協会会員かつ2026年度北海道看護協会会員であること。	
【演題応募原稿について】	チェック欄
・ 演題応募原稿の内容は、他の学会や雑誌に発表、あるいは投稿していないものである。※ただし、院内発表は可	
・ 抄録原稿は2000字以内にまとめている。	
・ 原稿は、規程の様式(A4判用紙1枚以内、本文は2段組)で作成している。(図、表、写真含む)	
・ 原稿(本文、図、表等)は、白黒印刷で作成し、明瞭である。	
・ 演題応募原稿は抄録原稿と選考用の2種類を作成している。	
① 抄録原稿: 表題(副題)、キーワード、発表者氏名、共同研究者氏名、所属施設名(部署名は不要)を記載したもの	
② 選考用抄録原稿: 抄録原稿から、発表者氏名、共同研究者氏名、所属施設名を削除したもの	
・ 所属施設名は、正式名称で記載されている。	
【倫理的配慮とその記述について】	チェック欄
・ 研究/実践対象者に、研究/実践内容および結果の公表等について説明し、承諾を得ている。	
・ 研究/実践対象者に対し、研究/実践への協力は任意であり、断っても不利益が生じないように配慮している。	
・ 研究/実践実施前に所属施設の倫理審査委員会において倫理審査を受け、承認を得ていることを明記している。	
・ 倫理審査会に相当する機関で承認を得た場合は、「倫理委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載のうえ “対象者から自由意思による承諾を得たこと”、“研究/実践ならびに発表の承諾が得られていること”、“対象者の不利益が生じないように配慮した”ことを明記している。	
・ 対象の特定ができないようにしている。	
① 事例紹介などの場合は、対象が特定されないような配慮がなされている。	
② 個人を推測できる記載(入院期間やイニシャル、実年齢等の記入)はない。	
③ 固有名詞(施設名、市町村名、当院やイニシャル記載での病院名、当病棟を含む)はない。	
④ 写真が添付されている場合は、人物が特定されないような配慮がなされている。	
⑤使用した物品・測定用具などは、特定の企業を指示するような社名・商品名の記載がない。	
⑥薬については、商品名ではなく製剤名を記載している。	
・ 文献から図表や本文を引用する場合は、出典を明らかにしている。	
・ 既存の尺度を使用する場合は、著作者の許可を得ているか、出典文献を明記している。	
【北海道看護研究学会参加申込について】	チェック欄
・ 発表者、共同研究/実践者(参加する場合)ともに学会に参加申込みをし、参加費を払い込む必要があることを承知している。	
<p>上記についてすべて確認しました。</p> <p style="text-align: center;">発表者氏名</p>	